

国立極地研究所 中間報告

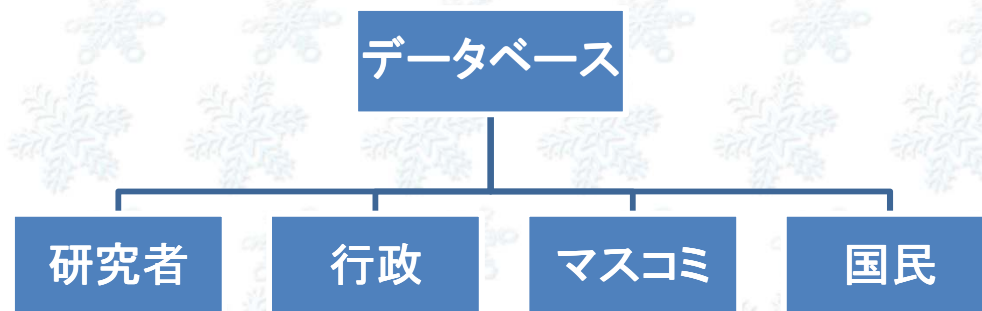
矢吹裕伯^{1,2}

1:国立極地研究所 北極観測センター

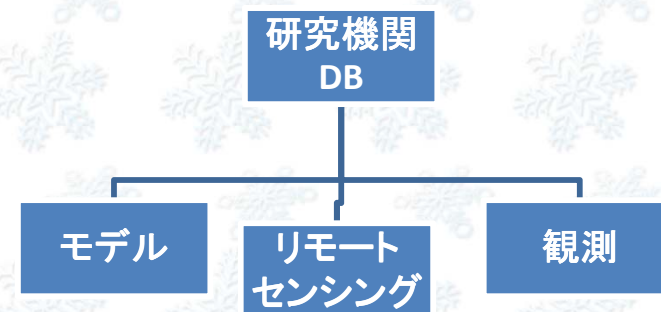
2:海洋研究開発機構

2015年7月3日
研究データへのDOI登録実験プロジェクト 中間報告書

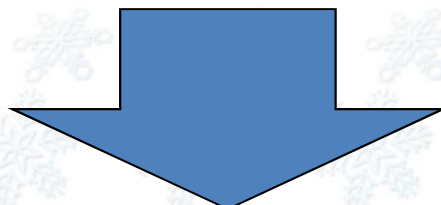
- オープンサイエンスの概念
 - 2013年6月：英国におけるG8科学大臣会合
 - 研究論文だけでなく研究データのオープン化
- その分野の知見を集約した国際的なデータベースの構築
 - 知見の集約
 - 情報ソースのハブ化
 - 教育・検索コストの低価格化



- 研究機関ごとに、独自のデータベースシステムの構築
 - 低価格で高性能なIT技術によって実現
 - 研究機関で独自に集約したデータの集約化
 - 資金を投入した研究成果の公共性の向上



- 属人性の高さ
 - データの管理、収集について、個々の裁量に依存
- 再利用性の低下
 - フォーマットの変換、所有権の確認に、時間が掛かる
- 意識の低さ
 - データ出版・公開に対しての評価基準がない

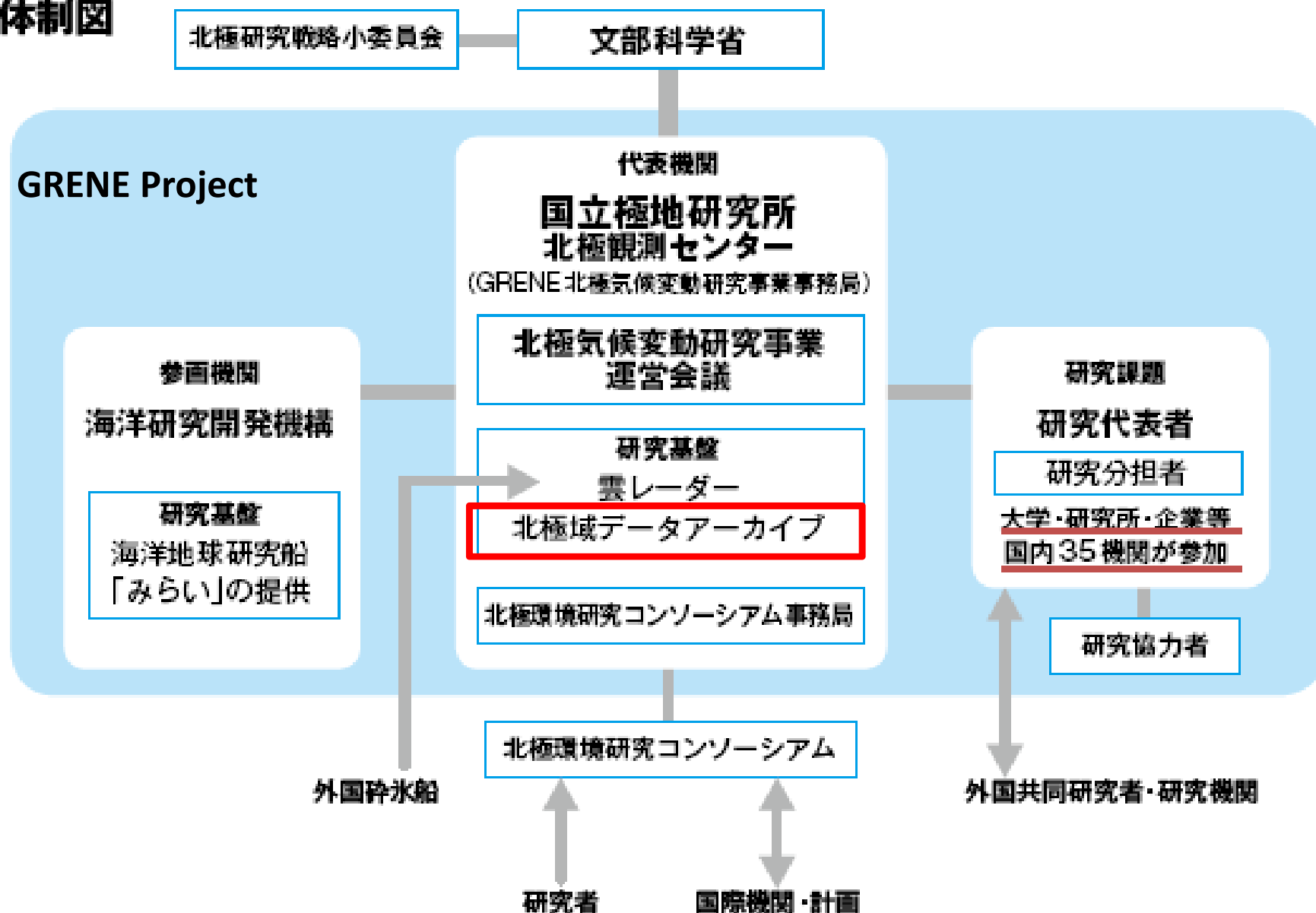


データの**死蔵化**

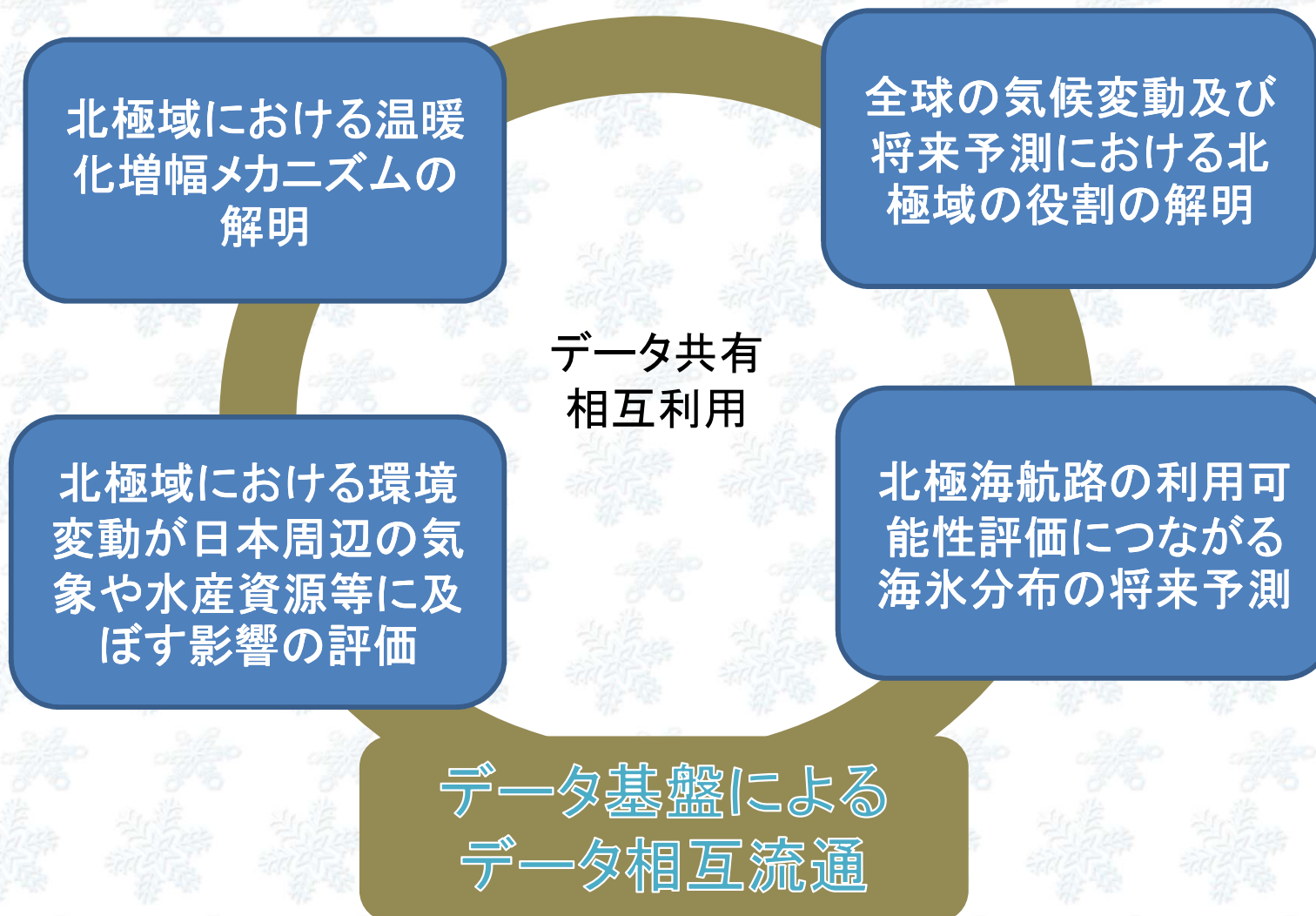
- 日の目を見ない観測データ・解析データ
- 他研究による被引用数の低下

データ出版・公開のインセンティブの確保が必要

体制図



北極域における環境変動、気候システムの理解



各分野間でこれらの様々データを共有することで効率よく解析を行う必要がある。

モデル研究者及び観測研究者によるデータの相互利用

北極域における環境変動、気候システムの理解

北極域における温暖化増幅メカニズムの解明

全球の気候変動及び将来予測における北極域の役割の解明

**データ公開基盤としてだけでなく
北極研究の共同研究解析プラットフォーム
としての位置づけ**

家や小生貝源寺に及ぼす影響の評価

海水力印の付木予測

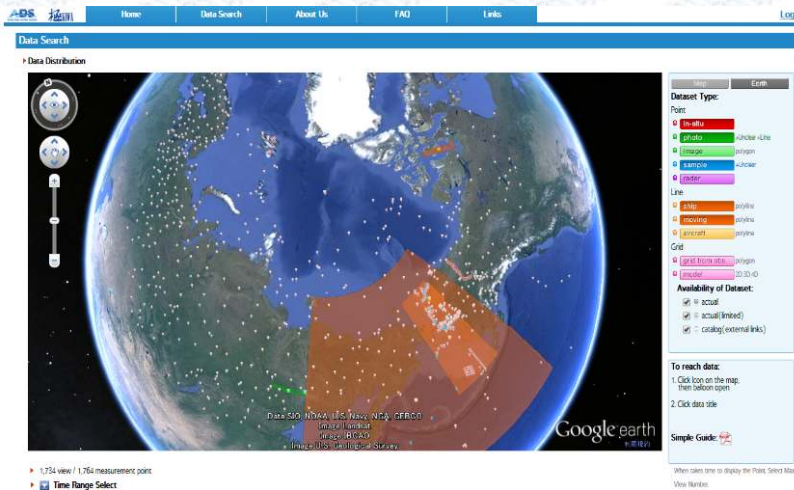
**データ基盤による
データ相互流通**

各分野間でこれらの様々データを共有することで効率よく解析を行う必要がある。

モデル研究者及び観測研究者によるデータの相互利用

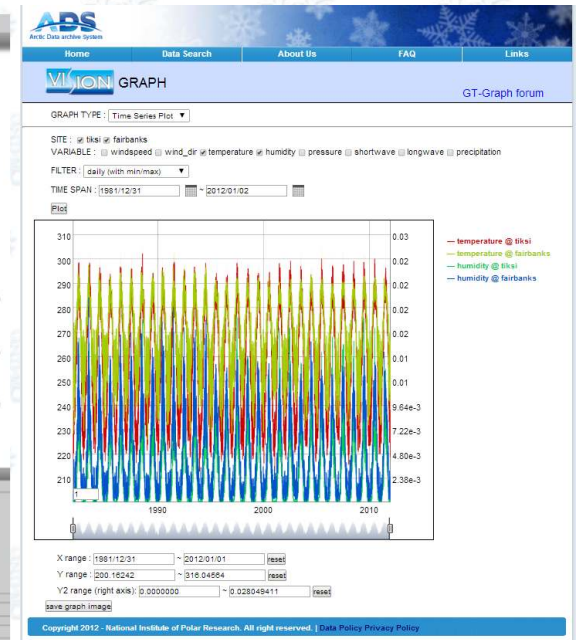
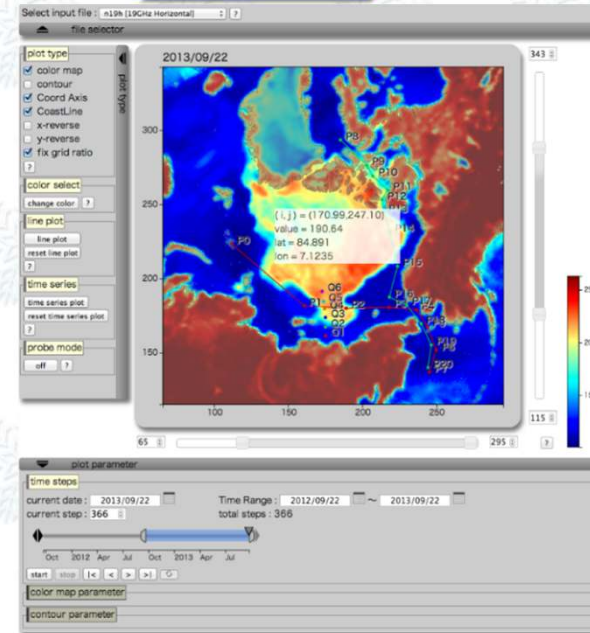
極KIWA

研究データ検索・
管理システム



VISION

オンライン可視化アプリケーション

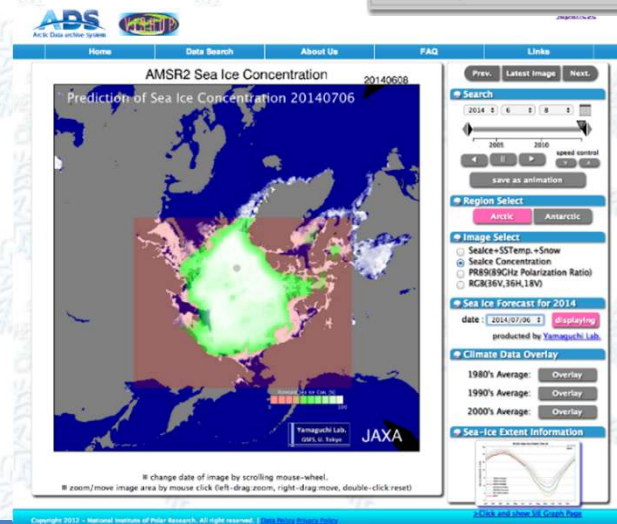


<https://ads.nipr.ac.jp/>

ViSHOP

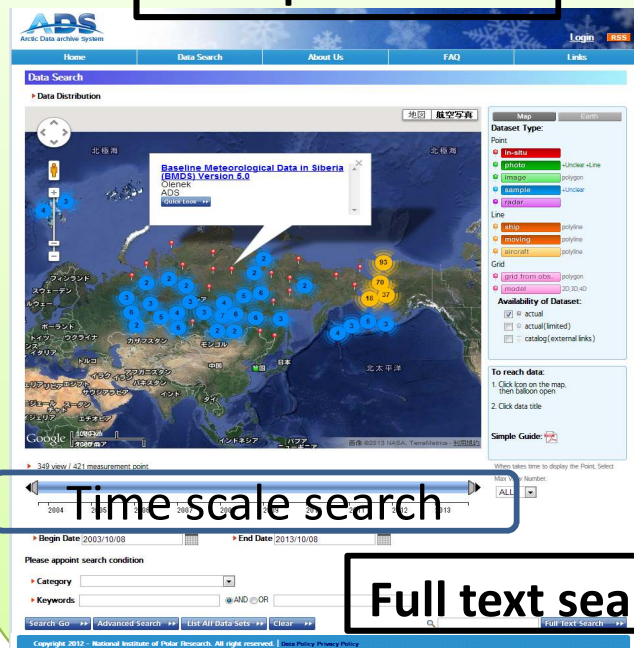
極域環境監視モニター

- ・可視化された衛星データを準リアルタイムでWebで提供する



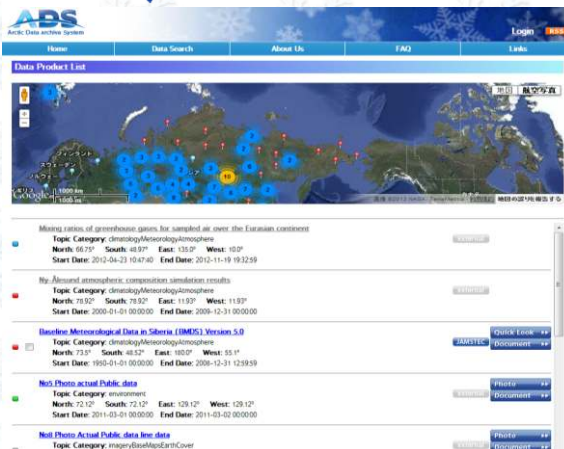
ブラウザ上でグリッドデータや
時系列データを可視化し、解
析を可能にするオンラインで可
視化するWebアプリケーション

Simple Search



Full text search

極KIWA



Search result

Geographical Search



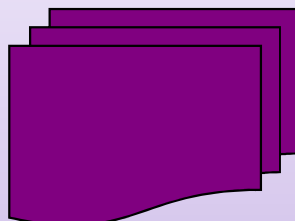
Detail search



Data Summary



Metadata



DownLoad

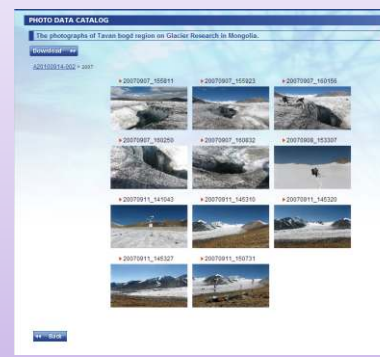
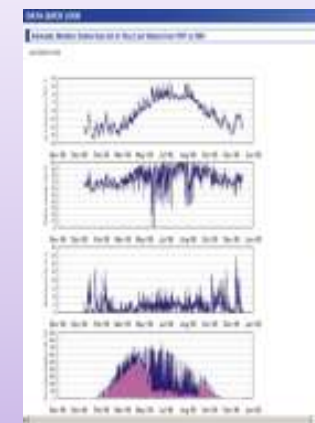
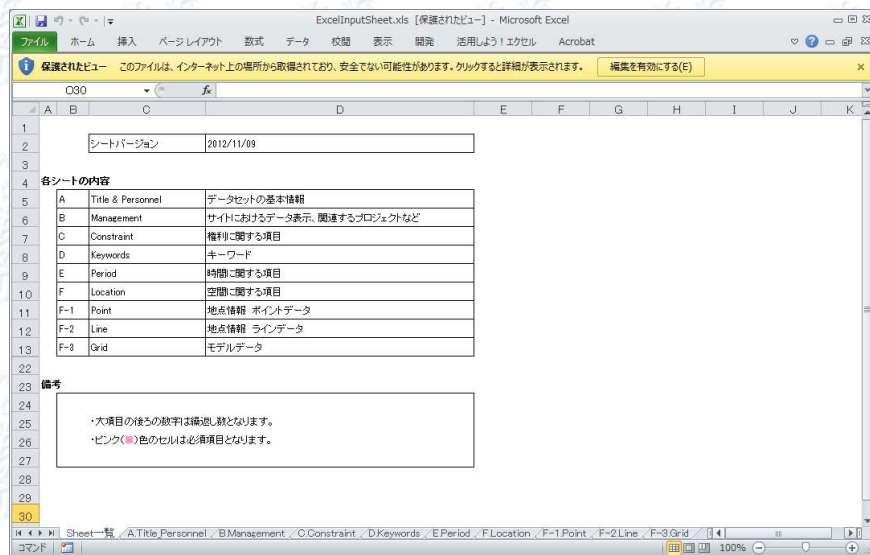


Photo Quick Look



Quick Look

メタデータの記載は全てエクセルシートを用いて行う。エクセルシートではマクロが組んであり、入力補助を行っている。



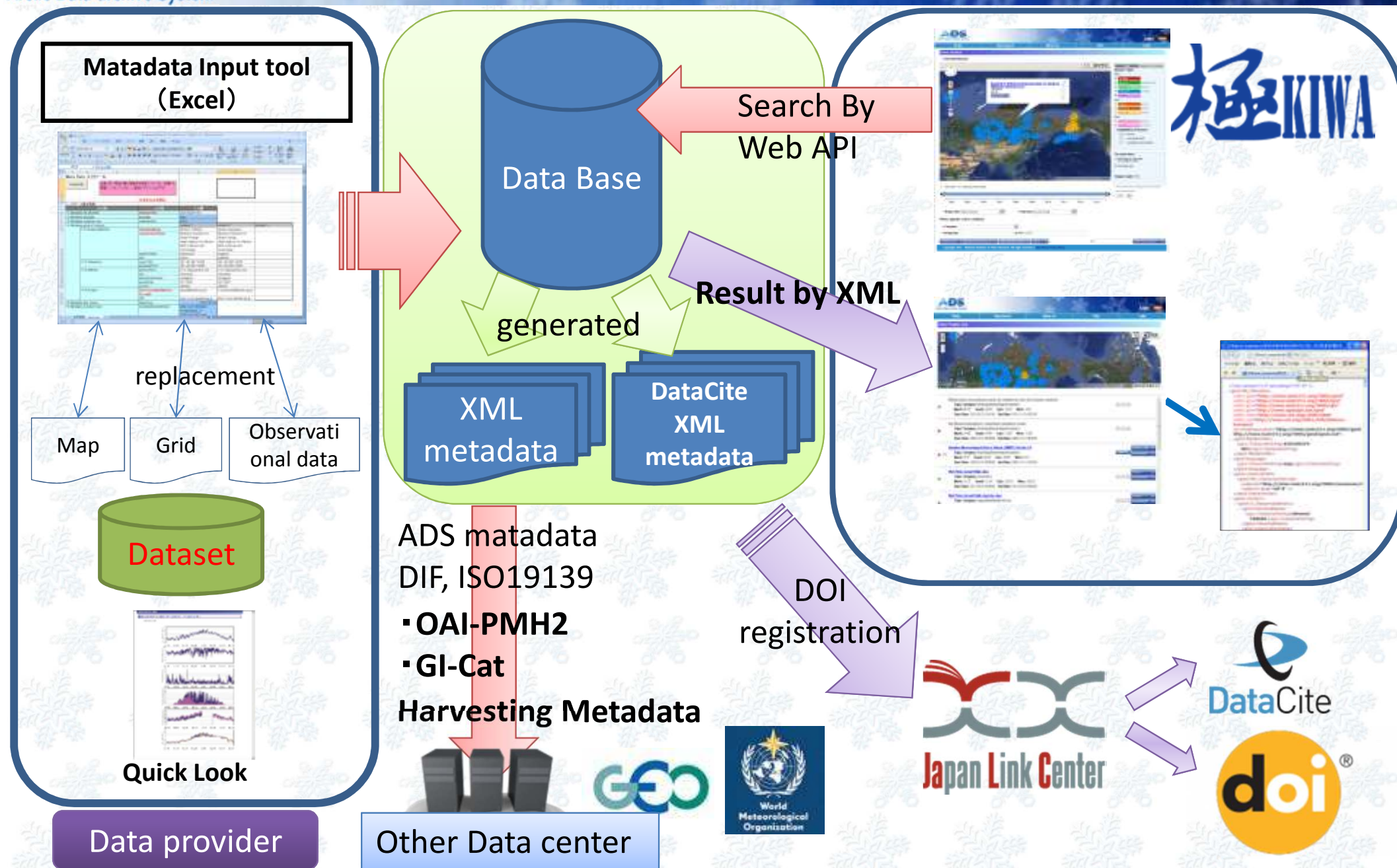
メタ情報規格

- 国際規格: **ISO19139**
- 関連プロジェクトの規格:
DIAS, GCMD DIF, DataCite
⇒各々の必須項目は必ず含み、マッピングに対応
- ADS独自規格: **ADS**

関連する規格	カテゴリ	要素数
DIAS	地球科学全般	85
DIF (Directory Interchange Format)	GCMDの定義	55
DataCite	科学データDOI関連	18

シート	シート名	項目	要素数(必須項目)
A	Title & Personnel	データセットの基本情報	32(22)
B	Management	サイトにおけるデータ表示、関連するプロジェクトなど	22(5)
C	Constraint	権利に関する項目	16(5)
D	Keywords	キーワード	14(5)
E	Period	時間に関する項目	11(2)
F	Location	空間に関する項目	17(4)
F-1	Point	地点情報 ポイントデータ	20
F-2	Line	地点情報 ラインデータ	8
F-3	Grid	モデルデータ	17

この部分: データの種類により入れ替え(粒度の細かいデータセットを記述できる)



New Edit Version Up Delete Upload Status Check DOI

Registration of Digital Object Identifier

Select Max View Number: 10

Attribute:

DOI登録フラグ:

Search CSV

No	FileIdentifier	Version	
1	A20131107-002	5.00	Baseline Meteorol
2	A20131010-009	1.00	Meteorological De
3	A20131010-008	1.00	Meteorological De
4	A20131010-006	1.00	Meteorological De
5	A20131010-005	1.00	Meteorological De
6	A20131010-003	1.00	Meteorological De
7	A20131010-002	1.00	Meteorological De
8	A20130131-011	1.00	Analyses of Ice C

Registration of Digital Object Identifier

FileIdentifier	A20131010-003
Title	Meteorological
UserID	ADSManager
登録フラグ	登録済
エラーコード	

エラー処理方法: 継続

登録処理方法: オンライン(レス)

コンテンツ区分: 研究データ

リクエスト種別: 登録/更新

サイトID: SI/JaLC.PR.D

シーケンス番号: 000000000000

DOI: 10.5072

URL: https://ads.nip

Twitter: 投稿する

Mail: 配信する

登録 取消 戻る

Copyright 2012 - National Institute of Polar Research

Home Applications About Us FAQ Links

Data Summary

Baseline Meteorological Data in Siberia (BMDS) Version 5.0

Back View Meta Data Record Download Quick Look

Select Version: 5.00

Summary

This dataset is the baseline meteorological data in Siberia that was constructed and quality-controlled for the GAME-Siberia Project and RIGC/JAMSTEC. It consists of daily data of main meteorological elements for 107 stations in Lena River basin and other territories of Siberia for 1950 - 2008.

Dataset citation

Hironori Yabuki, Hotaek Park, Rikie Suzuki, Tetuo Ohata, Haruko Kawamoto, 2011, Baseline Meteorological Data in Siberia (BMDS) Version 5.0, 5.00, Arctic Data archive System (ADS), Japan, doi: 10.5072/02.001.2013110702



DATA CONTORIBUTOR & GROUP

Hironori Yabuki
(Research Institute for Global Change/Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)

Hotaek Park
(Research Institute for Global Change/Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)

Rikie Suzuki
(Research Institute for Global Change/Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)

Tetuo Ohata
(Research Institute for Global Change/Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)

Haruko Kawamoto
(Research Institute for Global Change/Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)

PARAMETERS

Air Temperature

Spatial coverage

N: 73.5° S: 48.52° E: 180.0° W: 55.1°

Temporal coverage

1950-01-01 - 2009-04-12

License

CC BY 2.1 JP

This data is licensed under a [Creative Commons Attribution 2.1 JP License](#).

Back

Copyright 2012 - National Institute of Polar Research. All right reserved. Data Policy Privacy Policy

ADSメタデータコントロール画面

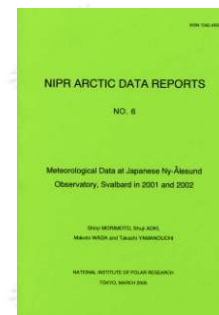
ADSのデータランディングページ

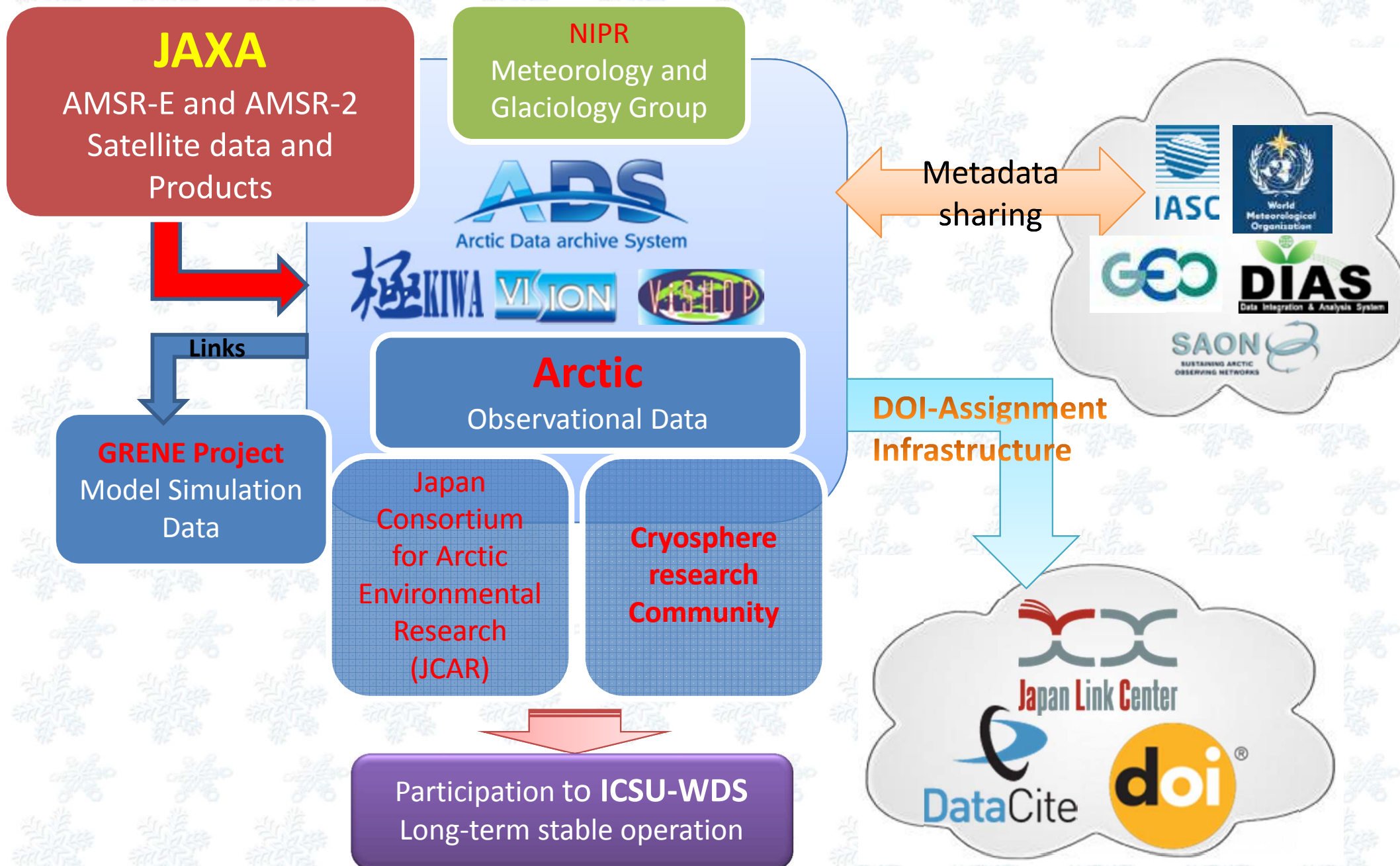
データ出版 (Data Publication) データ引用 (Data Citation)

- データ利用者のメリット
 - 論文に引用されるデータにアクセスができる。
 - 論文の引用から新たなデータへのアクセスが可能
- データ提供者のメリット＝>
 - データ公開が業績・評価の対象
 - データの利用数、被引用数を調べられる=>被引用論文数と同じ
- データセンターのメリット
 - データの整形等を通して2次利用が可能になり、データベースへの利用が可能になる。(統合的データベースの構築)
 - データ提供者へのインセンティブの確保

- DOIは単なる恒久的なパーマネントリンクを確保する“しくみ”。
- データセンター
 - 研究・観測データの品質が確保されることが重要
 - データセンター自体の品質にかかわる
- DOI発行者の責務
 - 公開・出版されるデータの品質の確保
 - DOIを発行するということは研究・観測データの品質の確保が**最重要課題**⇒データセンターにとって重要なアクション

- 現在：
 - 観測データ報告（編集・査読）
 - JARE-data reports
 - NIPR arctic data reports
- 検討中（案）
 - Data Reportsを発展させ査読制度を設ける
 - 品質を確保する
 - これらの査読を通過したデータに関してDOIの付与を行う。
 - **極地研独自のデータ品質管理**
 - 極地研のデータ出版としてdata reportsの活用（CrossRef ?）
 - データリポジトリとして**ADS**の活用（DataCite）
 - 学術論文に利用されたデータの登録（DOI付与）
 - 他データジャーナルに投稿されたデータ（DOI付与）





ありがとうございました。

URL: <https://ads.nipr.ac.jp>

Contact : ads-info@nipr.ac.jp